

安全報告書

2025年

伊予鉄道株式会社

目 次

1. 基本方針「安全に係る行動規範」	1
2. 当社の安全管理体制	1
(1) 安全管理体制 組織図	
(2) 各管理者の役割	
(3) 安全管理体制に係る各委員会	
(4) P D C Aサイクルによる安全マネジメント体制の取り組み	
3. 2024年度の事故等の発生状況	5
(1) 鉄道における事故等発生件数	
(2) 軌道における事故等発生件数	
(3) 災害（地震や暴風雨による被害）	
(4) 行政処分等	
4. 2025年度安全重点施策	7
5. 輸送の安全確保のための取り組み	7
(1) 安全確保のための取り組み	
(2) その他の取り組み	
6. ハード面での取り組み	14
(1) 新型鉄道車両7000系の導入	
(2) 新型低床車両の追加導入	
(3) 駅施設のバリアフリー化	
(4) 鉄軌道設備の維持・更新	
7. 地震災害への安全対策	19
8. テロ対策	20
9. 安全報告へのご意見に関する連絡先	20

1. 基本方針

鉄道・軌道業においては、安全管理規程において安全に係る行動規範を定め、社長以下全従業員に対し周知を図り、安全輸送の確保・絶対無事故に取り組んでいます。

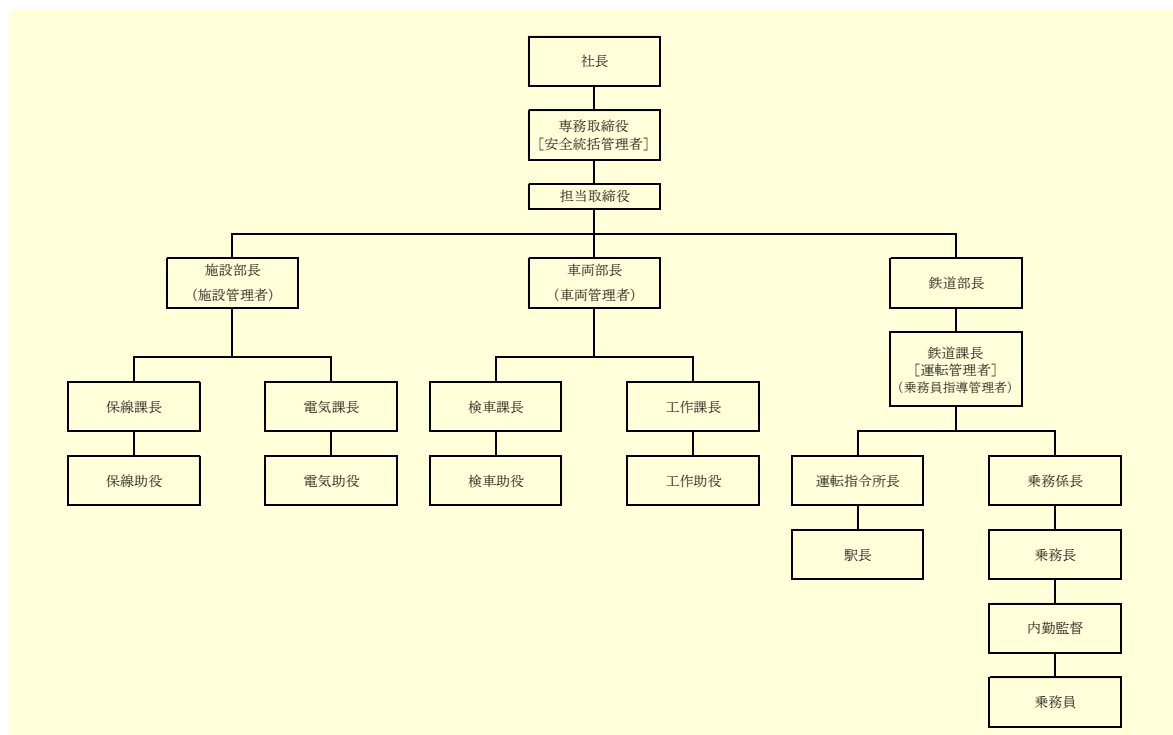
安全に係る行動規範

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2. 当社の安全管理体制

2006年10月から「安全管理規程」を制定し、社長をトップとした安全管理組織を構築して運用しています。

(1) 安全管理体制 組織図



(2) 各管理者の役割

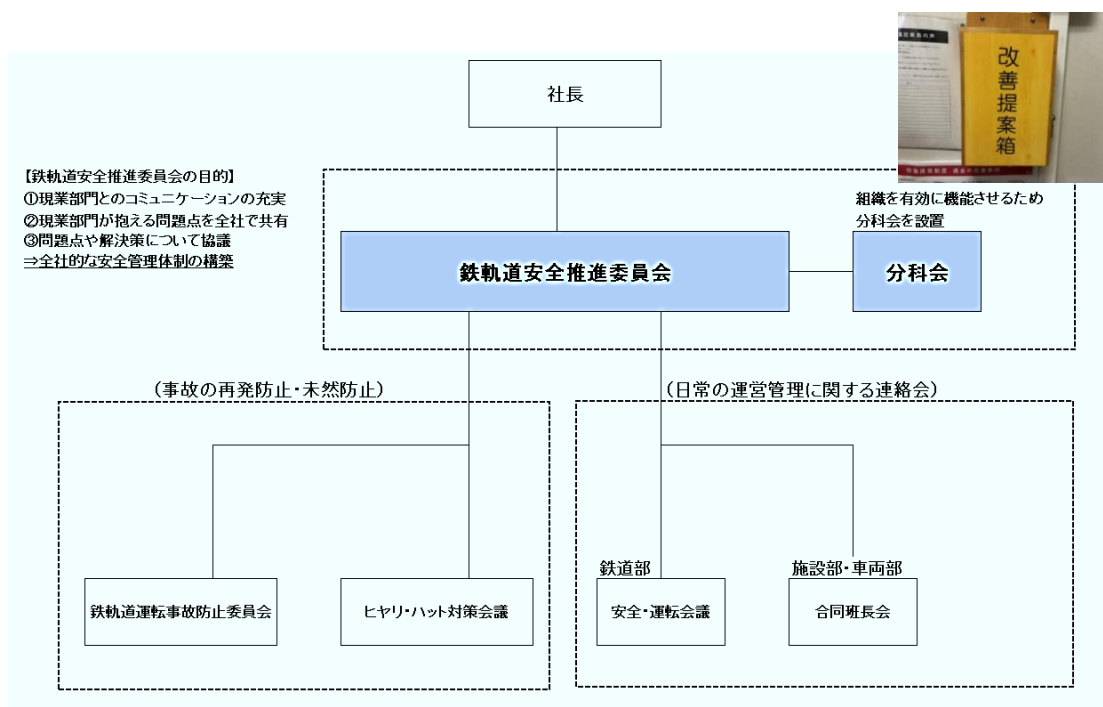
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転および事故防止に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道・軌道施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 本 部 長 (株伊予鉄グループ)	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、要員に関する事項を統括する。

(3) 安全管理体制に係る各委員会

① 鉄軌道安全推進委員会

2012年12月、鉄道および軌道事業における輸送の安全確保に関する事項全般を対象とし、管理部門と現業部門との意思疎通の円滑化を図り、現業部門が抱える問題意識を全社で共有するとともに、現業部門から抽出された問題点や解決策につき協議を行い、全社的な安全管理体制の構築を図るため、各委員会の上に鉄軌道安全推進委員会を設置し、併せて改善提案制度を導入しました。

改善提案箱(改善提案書投函箱)



② 鉄軌道運転事故防止委員会

運転事故の原因究明および防止措置に関する事項を総合的に調査審議し輸送の安全性を向上させるため、鉄軌道運転事故防止委員会を年1回実施しております。

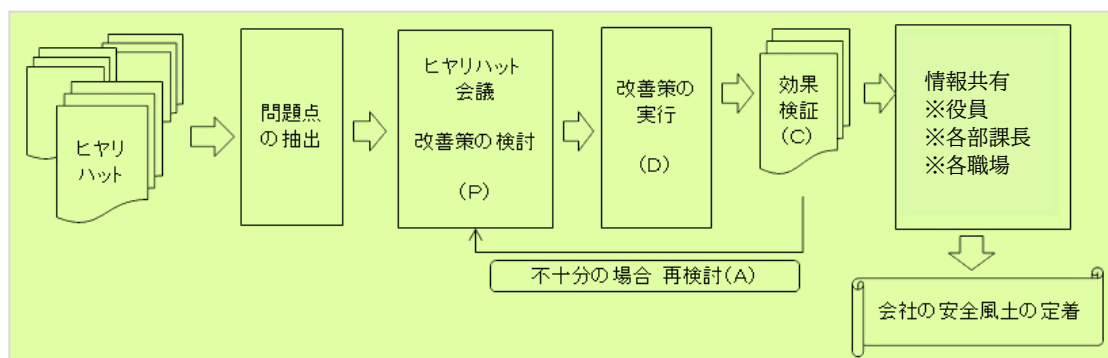
鉄軌道運転事故防止委員会（2024年12月）



③ 「ヒヤリ・ハット」対策会議

運輸安全マネジメント、安全管理規程に基づき、職場で体験（想定）したヒヤリ・ハットから危険要因と改善点を抽出し、社内で情報を共有することで事故、労働災害を未然に防止する環境を構築するため、半期に1回対策会議を実施しております。

ヒヤリ・ハット事案の対策フロー



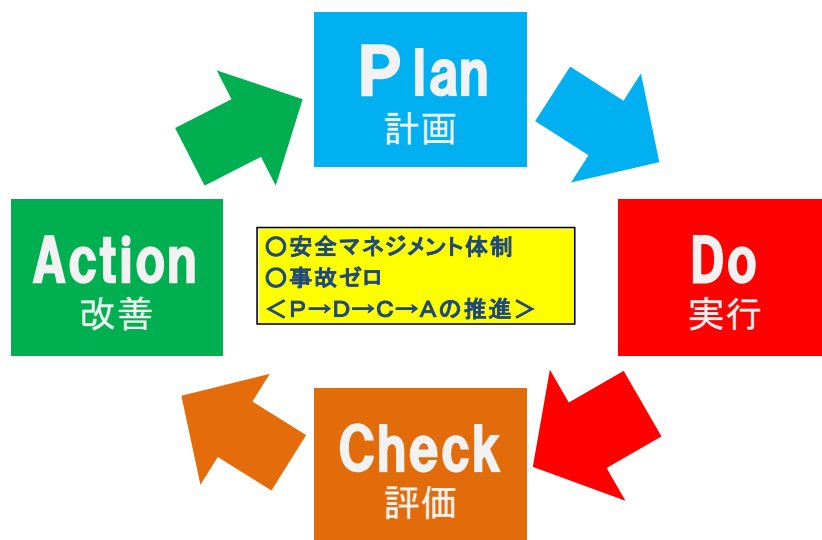
④ 安全・運転会議（駅員監督者と乗務員監督者の合同会議）および

合同班長会（施設・車両関係の監督者会議）の開催

管理部門と現業部門とのコミュニケーションを図り、日常の運営管理や問題点に関する連絡会議として毎月または隔月に開催し、現業部門からの情報の集約、および現業部門への情報提供の場を設けております。

（４）PDCAサイクルによる安全マネジメント体制の取り組み

経営トップから現場の従業員に至るまで全員が一丸となって「安全で安心、快適な電車」を目指し、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）→」のPDCAサイクルで安全性の向上を図る安全マネジメント体制に取り組んでいます。



経営トップによる現場とのコミュニケーション

経営トップや安全統括管理者は定期的に現場巡視を行い、輸送の安全確保の取り組み等について確認するとともに、現場とのコミュニケーションを図っています。

社長、専務取締役(安全統括管理者)による訓示（2024年12月）



運輸安全マネジメント内部監査の実施

①監査目的

輸送に関わる安全管理体制の構築・改善の取り組みを確認しました。

②監査内容

次の事項について監査しました。

- ・各部署の安全管理体制が、安全管理規程やその他安全管理体制に関する規程・手順に適合しているか
- ・安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているか

③実施日

トップインタビュー 9月24日（火）

鉄道部 10月29日（火）

施設部 10月29日（火）

車両部 10月29日（火）

④監査結果 改善事項等の指摘はありませんでした。

トップインタビュー（社長）



鉄道部の内部監査



3. 2024年度の事故等の発生状況

2024年度に発生した四国運輸局への届出が必要な運転事故、輸送障害およびインシデントの件数は下記のとおりです。

なお、事故等の定義は次のとおりです。

【事故等の定義】

- ①「運転事故」とは鉄道および軌道事故等報告規則に定める「列車衝突事故」「列車脱線事故」「火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「人身傷害事故」「物損事故」等をいいます。
- ②輸送障害とは鉄道および軌道による輸送に障害を生じた事態であって運転事故以外をいいます。
- ③インシデントとは運転事故等につながる恐れのあると認められる事態をいいます。

(1) 鉄道における事故等発生件数

	列車衝突	列車脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2024 年度	0	0	2	0	0	6	0

(2) 軌道における事故等発生件数

	車両衝突	車両脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2024 年度	0	0	0	1	2	3	3

インシデントに該当する事案 3 件

- ・ 車両故障重大インシデント（2024 年 11 月 6 日発生）

概況：道後温泉駅発 JR 松山駅前行き電車が勝山町停留場に向け進行中、ドアスイッチを操作していないにもかかわらず前扉が開いたため、勝山町停留場で営業運転を取りやめて回送した。

原因：運輸安全委員会により調査中。

対策：運輸安全委員会による調査結果をもって決定いたします。

- ・ 勝山町停留場下り信号冒進
- ・ 南堀端停留場上り信号冒進

(3) 災害（2024 年度に発生した大雨等による被害）

11 月 2 日 規定降雨量超過による運休

（鉄道線全線・最大 7 時間 10 分遅延、軌道線全線・最大 3 時間 12 分遅延）

(4) 行政処分等

なし

4. 2025年度 安全重点施策

2025年度の安全重点施策は次のとおりです。

(1) 「重大事故」・「インシデント」発生ゼロ

- ① 危険予知・防衛運転で有責事故ゼロ
- ② 意識した声高指差確認喚呼の徹底でヒューマンエラー発生ゼロ

(2) 法令及び規程の遵守

- ① 関係法令の厳守・各規程類の遵守
- ② 安全に対する意識・業務知識を向上させる教育訓練の推進

(3) 事故・トラブルの未然防止と再発防止対策の推進

- ① 発生事案の検証と再発防止の強化
- ② 各部署にも影響するイレギュラー事案を共有し事故の未然防止

(4) 安全性向上施策の推進

- ① 事故・災害情報の伝達と対策実施による再発防止
- ② 各部門の連携により安全意識の維持・向上

各部署は安全重点施策に基づき部署ごとの業務内容に合わせた具体的目標を作成し、達成に向けた取り組みを行っています。

5. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 安全確保のための取り組み

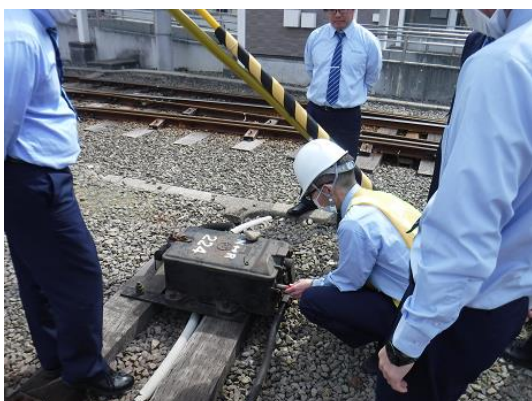
行政機関と連携して実施する「春・秋の全国交通安全運動」、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」をはじめ、過去の事故を教訓として続いている運転事故撲滅運動、安全性向上および事故防止にむけた取り組みとして各種安全教育訓練を実施しています。

	訓練実施時期	訓練場所	訓練概要
全課	2024年 12月	運転指令所 関係機関	南海トラフ地震発生時における 関係機関情報FAX訓練
鉄道部 (駅務)	毎月	運転指令所	運転取り扱いに関する各種実設訓練
	2024年 4月	古町駅構内	【実設訓練】 ①電気転てつ器（YS型）手動介入訓練 ②発条転てつ器の操作訓練 ③代用手信号訓練 ④発炎筒使用訓練
	2024年 5月	古町・鉄道課	定期考査
	2024年 6月	松山市駅	総合防災訓練
	2024年 9月	松山市駅	防災避難訓練
	2024年 9月	高浜駅・梅津寺駅	【実設訓練】 地震・津波発生時の旅客避難手順、避難場所確認
	2024年 11月	松山市駅	消防基本訓練

鉄 道 部 (駅 務)	2024 年 12 月	松山市駅	【実設訓練】 ①異常時の旅客誘導・避難方法 ②不審者・不審物等テロ対策マニュアル再確認 ③火災発生時の取り扱い
鉄 道 部 (乗 務)	2024 年 5 月	古町・鉄道課他	【乗務全体】 ①地震発生時の運転取り扱い ②避難梯子使用方法 ③異常時の案内 【鉄道線】 車両故障発生時における、いよ立花駅での 車両振替手順 【軌道線】 定期考査
	2024 年 7 月	古町・鉄道課	軌道新人（6 ヲ月）フォローアップ研修
	2024 年 7 月	古町・鉄道課	接遇マナー研修（軌道）
	2024 年 9 月	古町・鉄道課	【鉄道線】 定期考査 【軌道線】 低床スロープ手順確認 車両連結手順・発進、停止
	2024 年 10 月	古町・鉄道課	接遇マナー研修（鉄道）
	2024 年 11 月	古町・鉄道課	軌道新人（3 ヲ月・2 年）フォローアップ研修
	2024 年 12 月	古町・鉄道課他	【乗務全体】 軌道線走行中ドアが開いた場合の対応 5000 形ドア不良時の取り扱い 【鉄道線】 単線区間における信号不現示による閉そく変更 閉そく変更時の車掌案内 【軌道】 環状線における通票式の取り扱い
	2025 年 2 月	古町・鉄道課	軌道新人（1 年）フォローアップ研修
	2025 年 3 月	古町・鉄道課	軌道新人（3 ヲ月）フォローアップ研修
施 設 部	2024 年 4 月	三津駅構内	【保線】 転てつ棒折損を想定した早期復旧訓練
		古町技術センター	【電路】 遮断機取り扱い訓練
		上一万変電所	【電気】 電鉄変電所設備の保護継電器動作による 緊急点検訓練
	2024 年 9 月	三津駅構内	【保線】 スプリングロッド折損を想定した早期復旧訓練
		鉄道軌道全線	【電路】 全線巡回および連絡体制の確認
		各変電所	【電気】 自然災害を想定した各変電所の巡視
	2024 年 12 月	松山市駅構内	【保線】 NS 電気ポイント転換不能を想定した早期復旧訓練
		上一万変電所	【電気】 気中遮断器の投入動作不良を想定した訓練
車 両 部	2024 年 4 月	古町構内車庫線	3000 系車両の脱線復旧訓練
	2024 年 9 月		700 系車両 3 両編成時における、空気圧縮機 不具合時の対応
	2024 年 12 月		7000 系車両の脱線復旧訓練

各訓練実施写真

【駅務】電気転てつ器 (YS 型) 手動介入訓練



【駅務】発条転てつ器の操作訓練



【駅務】代用手信号訓練



【駅務】発炎筒使用訓練



【駅務】刺股を使った不審者対策訓練



【乗務】接遇研修



【乗務】車両連結訓練



【乗務】閉そく変更訓練



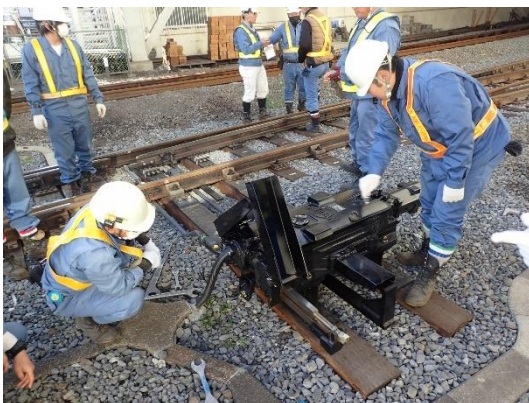
【保線】転てつ棒折損を想定した早期復旧訓練



【保線】スプリングロッド折損を想定した早期復旧訓練



【保線】ポイント転換不能を想定した早期復旧訓練



【電路】遮断機取り扱い訓練



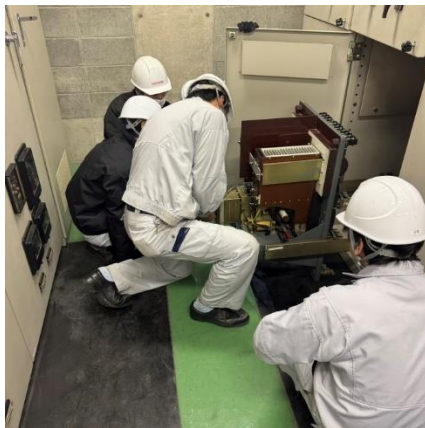
【電気】緊急点検訓練



【電気】各変電所の巡視



【電気】気中遮断器の投入動作不良を想定した訓練



【車両】脱線復旧訓練



(2) その他の取り組み

①厳正な点呼とアルコールチェック

乗務員の飲酒運転防止と体調把握のため、乗務前後にアルコールチェックと対面点呼を実施しております。また、業務用の携帯電話をすべての車両に配備し、個人所有の携帯電話は乗務中携帯禁止としております。

アルコールチェックの様子



乗務員が使用しているアルコールチェッカー



②ドライブレコーダーの活用

ヒヤリハット情報や事故状況の確認のため、ドライブレコーダーをすべての市内電車に搭載しております。カメラで車両内外の状況を記録し、事故発生時の状況確認や、ヒヤリハット情報として乗務員の安全教育に活用しています。

ドライブレコーダーの映像



③事故再発防止検証会の開催

有責事故等が発生した場合には、該当係員・管理職・指導職・労働組合で構成する「事故再発防止検証会」を開催しております。論理面・運転面の分析と検証を行ない、事故再発防止に繋げております。



④運転士のサングラス着用

直射日光等の眩しさを軽減することによる視認性向上、目の疲労軽減による安全性向上を目的として、運転士に偏光サングラスの着用を認めています。

※2024年8月30日より着用開始



6. ハード面での取り組み

当事業年度において実施した主な施設更新および工事は次のとおりです。

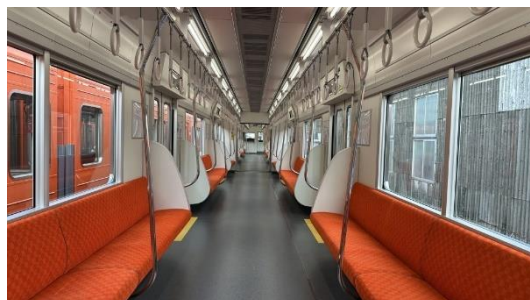
(1) 新型鉄道車両 7000 系の導入

2025年2月に67年ぶりの新型鉄道車両「7000系」6両（2編成分）を導入しました。バリアフリー基準適合車両で、省エネ性能の向上により消費電力を約50%削減し、カーボンニュートラルに貢献します。2027年までに合計18両（6編成）を導入する予定です。

新型鉄道車両「7000系」（外観）



新型鉄道車両「7000系」（車内）



車内犯罪防止のため、防犯カメラを設置



車椅子スペースと LCD 次駅案内表示器



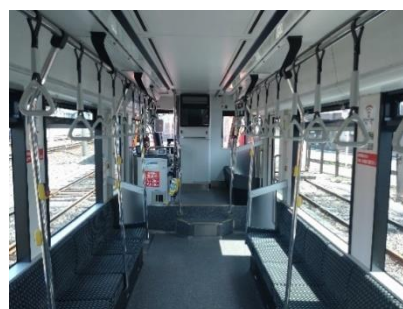
(2) 新型低床車両の追加導入

2025年2月に新型低床車両「5000形」2両を追加導入し、合計16両で営業運行しております。「5000形」は従来型低床車両と比較して車内の通路幅が広く定員数も増となっており、お客様の利便性および快適性を向上させ、ご利用いただきやすい仕様としております。

新型低床車両「5000形」（外観）



新型低床車両「5000形」（車内）



(3) 駅施設のバリアフリー化

視覚障害者の安全確保のため、高浜駅へ内方線付き点字ブロックを設置しました。

施工前



施工後



(4) 鉄軌道設備の維持・更新

① レールおよびマクラギ更新工事

安全性と快適性向上のため、レールおよびマクラギ等の更新工事を計画的に行っております。

三津駅構内 PC マクラギ敷設他

施工前



施工後



城北線萱町六丁目北踏切 連接軌道ブロック更新・レール交換

施工前



施工後



本町一丁目～本町三丁目 軌道修繕

施工前



施工後



②古町駅伝送装置更新工事

安全性向上のため、老朽化した伝送装置を更新しました。

施工前



施工後



③鉄柱建替工事

安全性向上のため、老朽化した高浜線の鉄柱を建替えました。

施工前



施工後



④踏切遮断機取替工事（全１０台）

計画的に踏切遮断機を取替を行うことで踏切保安度の維持を図りました。

施工前



施工後



⑤リレー等の更新に伴う器具箱更新工事

安全性向上のため、老朽化した器具箱計２基を更新しました。

施工前



施工後



⑥横断禁止看板設置

鉄軌道安全推進委員会「改善提案制度」により、勝山町停留場に横断禁止看板を設置しました。併せて、立ち位置注意喚起のため、停留場出入口の上面を塗装しました。

横断禁止看板（北側）



横断禁止看板（南側）



停留場上面塗装（北側）



停留場上面塗装（南側）



視覚障害のある方の駅ホームにおける転落防止措置について

視覚障害のある方の安全確保のため、内方線付き点字ブロック敷設のほか、係員の声掛けによる転落防止措置をとっています。

新入社員を対象とした「視覚障害者の案内訓練」



7. 地震災害への安全対策

2007年10月1日より一般供用が開始された気象庁の緊急地震速報制度を利用した緊急地震速報受信装置を同年10月、運転指令所および古町中継所に設置しました。緊急地震速報を受信した場合、直ちに全列車に対し注意運転または運転中止を指令します。また、地震が発生した場合に備え、避難訓練や旅客誘導訓練を実施しております。

緊急地震速報受信装置



列車無線による指令



地震・津波発生時の旅客避難手順、避難場所の確認訓練



地震発生時に備えた避難梯子取り扱い訓練



8. テロ対策

駅構内の電光表示等により、お客様に対して不審物を発見した場合の通報のご協力をお願いしています。また、全駅に防犯カメラを設置することで、テロリスト等、不審者への防犯対策を行っております。

電光表示機等による注意喚起・協力依頼



テロ対策特別警戒への協力依頼



全駅に設置している防犯カメラ



9. 安全報告書へのご意見に関する連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

info@iyotetsu.co.jp